

アマチュア科学者が科学を変える？

～シチズンサイエンスについて考える～

日本学術会議サイエンスカフェ

日時／2019年 **2月15日（金）**

19：00～20：30（18：30 受付開始）

会場／**文部科学省 情報ひろば 1階ラウンジ**

東京都千代田区霞が関3-2-2

アクセス／銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結

千代田線「霞ヶ関駅」A13番出口徒歩5分

参加費／**無料**（ドリンク付き）

申し込み／**事前申し込み制・定員30名**

「氏名」および「2月15日サイエンスカフェ参加希望」

と書いたメールを kadabetu-scj@cao.go.jp 宛てにお送りください

野鳥の生態観測だったり、ガンのデータ解析だったり。
近年、科学のさまざまな場面で、ふつうの市民が大きな役割を
担うようになっていきます。

市民が科学研究の一翼を担う「シチズンサイエンス」。

それは、科学のあり方をも大きく変えようとしています。

シチズンサイエンスの動向に詳しい林和弘さん、日本心理学会で
シチズンサイエンス・プロジェクトに取り組んでいる高瀬堅吉さん、
そして高校生ならではの行動力と探求心で科学研究に取り組んでいる
佼成学園高校サイエンス部のみなさんをゲストに迎え、
シチズンサイエンスについて考えたいと思います。

Guest



林和弘

文部科学省科学技術・学
術政策研究所上席研究官



高瀬堅吉

日本心理学会認定心理士の会運営委
員会委員長、自治医科大学大学院医学
研究科教授、日本学術会議連携会員



佼成学園高校
サイエンス部

Coordinator



中村征樹

大阪大学全学推進機
構准教授、日本学術会
議連携会員